

各高齢者施設・事業所管理者 様

香川県健康福祉部長寿社会対策課長

(公 印 省 略)

高齢者施設・事業所におけるマスクの着用について

日頃は、高齢者福祉行政に御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために御尽力いただき、心より感謝申し上げます。

さて、本県では、7月以来、県内の高齢者施設・事業所で4件の新型コロナウイルス感染症の感染事例が判明しています。

上記発生事例の感染者は、いずれも、利用者又は入居者であったことから、各高齢者施設等管理者様におかれましては、以下の点に留意し、改めてより慎重で徹底した感染防止対策に御協力をお願いします。

- ・ サービス提供にあたっては、「3つの密」（「換気が悪い密閉空間」、「多数が集まる密集場所」及び「間近で会話や発声をする密接場面」）を回避すること。
- ・ 飛沫感染防止のため、職員に限らず、居室以外で過ごす利用者（特に声を出す機会が多い場合）へのマスクの着用を促すこと。
- ・ 利用者に感染が疑われるような場合に、利用者がやむを得ず室外に出るときは、感染経路を遮断し、クラスターの発生を未然に防ぐためにマスクの着用を徹底すること。（布製マスクについては、国が一括購入し、配布を希望する介護施設等に随時配布しています。）

※ マスクの着用は感染リスクの低減に有効であるとされています。

○ 別添 一般社団法人 日本環境感染学会「医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド第3版」表1参照

○ 新型コロナウイルス感染症対応力向上研修会でもご紹介しております。

https://www.pref.kagawa.lg.jp/content/etc/subsite/choju/upfiles/sdjrdsd180123143908_f145.pdf

なお、感染が疑われる場合は、保健所に連絡し、その旨の指示に従うとともに速やかに県長寿社会対策課に報告をお願いします。

香川県健康福祉部長寿社会対策課

施設サービスグループ

TEL 087-832-3266

在宅サービスグループ

TEL 087-832-3274

表1 医療従事者の曝露のリスク評価と対応

新型コロナウイルス感染症患者と接触したときの状況 (注1)	曝露のリスク	健康観察 (曝露後14日目まで)	無症状の医療従事者に対する就業制限	
マスクを着用している新型コロナウイルス感染症患者と感染性期間中に長時間(注2)の濃厚接触あり				
医療従事者のPPE	PPEの着用なし	中リスク	積極的	最後に曝露した日から14日間
	サージカルマスクの着用なし	中リスク	積極的	最後に曝露した日から14日間
	サージカルマスクは着用しているが眼の防護なし	低リスク	自己	なし
	サージカルマスクは着用、眼の防護もしているがガウンまたは手袋の着用なし	低リスク	自己	なし (体位変換などの広範囲の身体的接触があった場合は14日間)
	推奨されているPPEをすべて着用	低リスク	自己	なし
マスクを着用していない新型コロナウイルス感染症患者と感染性期間中に長時間(注2)の濃厚接触あり				
医療従事者のPPE	着用なし (注2)	高リスク	積極的	最後に曝露した日から14日間
	サージカルマスクの着用なし (注2)	高リスク	積極的	最後に曝露した日から14日間
	サージカルマスクは着用しているが眼の防護なし	中リスク	積極的	最後に曝露した日から14日間
	サージカルマスクは着用、眼の防護もしているがガウンまたは手袋の着用なし	低リスク	自己	なし (体位変換やリハビリなどの広範囲の身体的接触があった場合は中リスクとして14日間)
	推奨されているPPEをすべて着用	低リスク	自己	なし (注3に該当する場合は中リスクとして14日)

Interim U.S. Guidance for Risk Assessment and Public Health Management of Healthcare Personnel with Potential Exposure in a Healthcare Setting to Patients with 2019 Novel Coronavirus (2019-nCoV)2020年4月15日版をもとに作成し改変

注1 記載されているPPE以外のPPEは着用していたと考えます。例えば「眼の防護なし」とある場合は、それ以外の推奨されるPPE(マスク、手袋、ガウン)は着用していたと考えます。

注2 接触時間の目安について、旧ガイドでは3分以上を一定時間としていましたが、海外の各専門機関の指針等を踏まえて全般的に“15分以上”を長時間の基準に変更しました。ただし、患者と医療従事者が共にマスクを着用せず、外来診察など近い距離で対応した場合は、3分以上でも感染リスクが発生する可能性もあります。そのため、時間だけで明確にリスクのあるなしを決定せず、その際の状況も踏まえて判断する必要があります。

注3 サージカルマスクを着用した医療従事者が大量のエアロゾルを生じる処置を実施した場合や、これらの処置を実施中の病室内に滞在した場合は中リスクと判断します。ただし、N95マスクを着用していた場合は低リスクと判断します。

(参考)

「医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド (第3版)」

<一般社団法人 日本環境感染学会 2020年5月7日>から抜粋。